



SANDERS CAPITAL

ニッセイ／サンダース・  
グローバルバリュー株式ファンド

(資産成長型)／(隔月予想分配金提示型)

追加型投信／海外／株式

感情がバリュース株の投資機会をもたらし、  
情報と平静さを持ち合わせた投資家がこうした投資機会を享受する。  
バリュース株運用が、数ある運用スタイルのなかで最も効果的である。

これはバリュース株運用に特化した米国の資産運用会社  
「サンダース・キャピタル」の信念です。

同社は、大手資産運用会社で運用責任者や  
経営責任者を務めたサンダース氏が中心となり、  
2009年に設立されました。

長年バリュース株運用を手がけ名声を有する  
サンダース氏・マヘディ氏の両名を中心に、  
設立以降良好なパフォーマンスを投資家に提供してきました。  
年金基金や機関投資家などからも高く評価されている  
サンダース社のバリュース株運用を、  
みなさまの資産形成にぜひご活用ください。



ルイス・A・サンダース  
CEO 兼 共同CIO



ジョン・P・マヘディ  
共同CIO 兼 リサーチディレクター



## サンダース社のバリュー株運用のポイント

### Point 1 バリュー相場に強く、グロース相場でも市場に追随

- 代表ファンドはこれまで、バリュー相場で市場平均を大きく上回る一方、グロース相場でも市場平均とほぼ同程度のパフォーマンスを実現してきました。

### Point 2 独自の視点で投資銘柄を厳選

- 百戦錬磨のサンダース氏・マヘディ氏両名の深い知見に基づくサンダース社ならではのアプローチにより、市場が過小評価していると考えられる銘柄を厳選します。

#### 「バリュー」と「グロース」

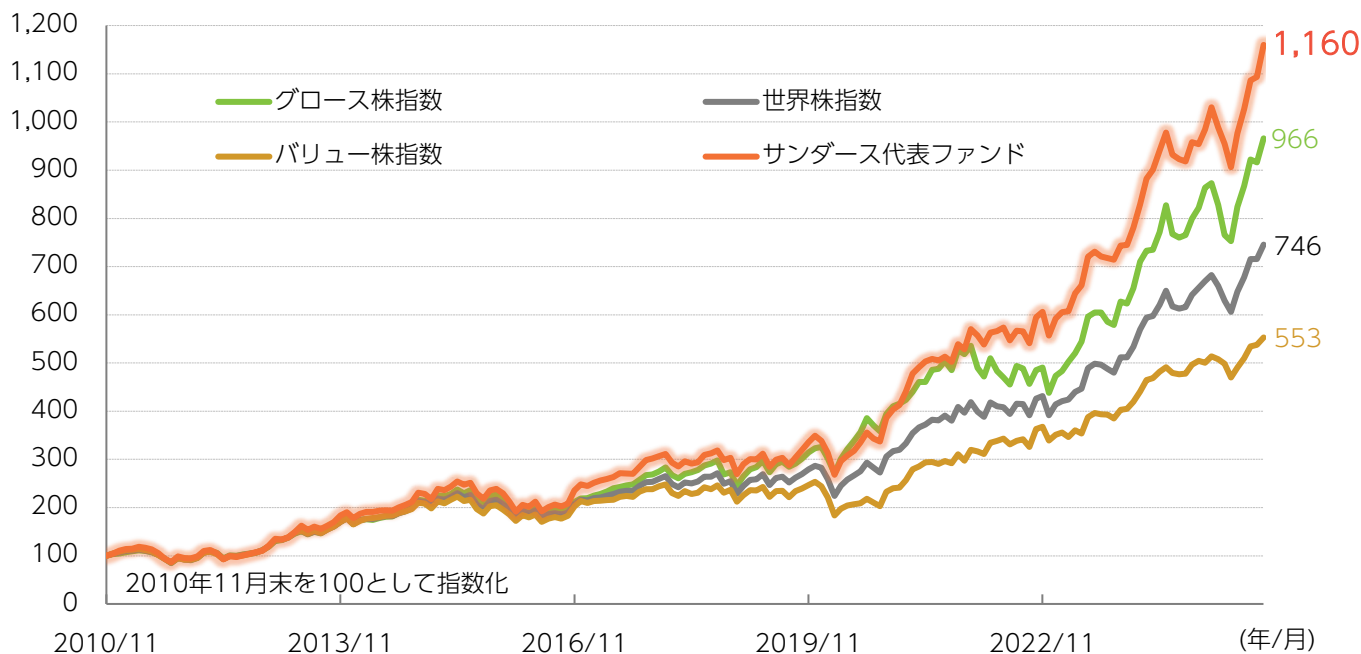
- 「バリュー株(割安株)」とは、本来の企業価値に比べて株価が割安である銘柄のことです。バリュー株に注目した株式運用を「バリュー株運用」といいます。
- 一方、「グロース株(成長株)」とは、業績の成長率が高い、または高い成長が見込まれる銘柄のことです。グロース株に注目した株式運用を「グロース株運用」といいます。
- 相対的にバリュー株が優位な局面を「バリュー相場」、グロース株が優位な局面を「グロース相場」といいます。

# 1 バリューストック相場に強く、グロース相場でも市場に追随 代表ファンドの良好なパフォーマンス



- サンダース社のバリューストック運用の代表ファンドは、2010年12月の設定以降、相対的に良好なパフォーマンスを示しています。
- 当該期間においてはグロース株指数がバリューストック指数を上回っていますが、代表ファンドはグロース株指数も上回るパフォーマンスを実現しています。

## 設定来のパフォーマンス推移(円ベース)



## 期間別リターン(円ベース、年率)

2025年9月末時点

	3年	5年	10年	設定来
サンダース代表ファンド	28.9%	27.6%	18.2%	18.0%
世界株指数	24.0%	21.4%	14.3%	14.5%
超過リターン	5.0%	6.2%	3.9%	3.5%

出所) FactSetのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 データ期間：2010年11月末～2025年9月末(月次)

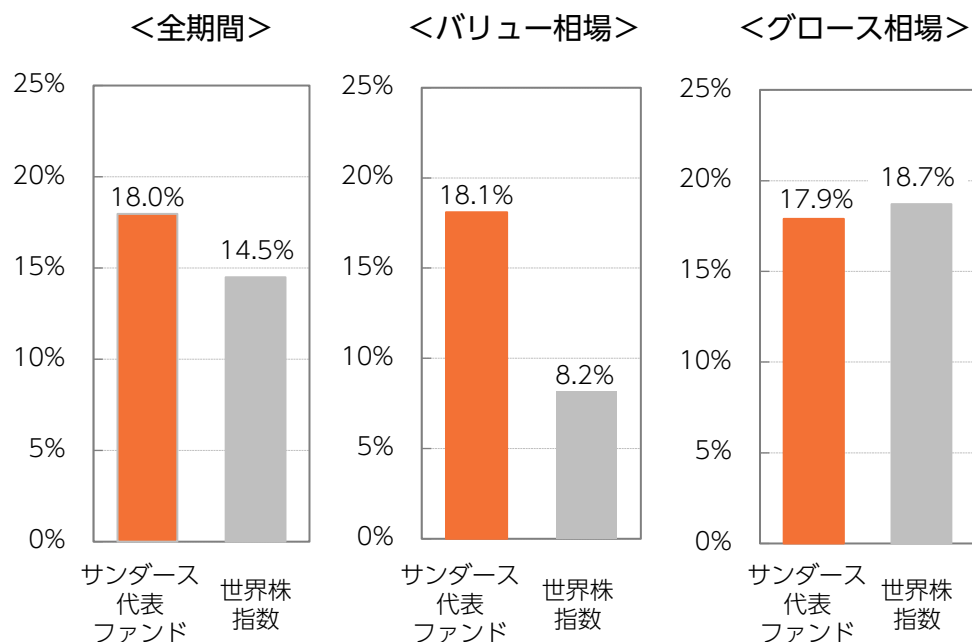
世界株指数：MSCIオールカントリー指数、バリューストック指数：MSCIオールカントリー・バリューストック指数、グロース株指数：MSCIオールカントリー・グロース指数

上記の運用実績は、サンダース・キャピタル・エルエルシーが当ファンドと同様の運用プロセスで運用を行う代表ファンドのパフォーマンス(報酬等コスト控除前)を示したものです。代表ファンドのベンチマークはMSCIオールカントリー指数であり、MSCIコクサイ指数をベンチマークとする当ファンドとはベンチマークが異なります。上記は当ファンドや当ファンドのマザーファンドの運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。

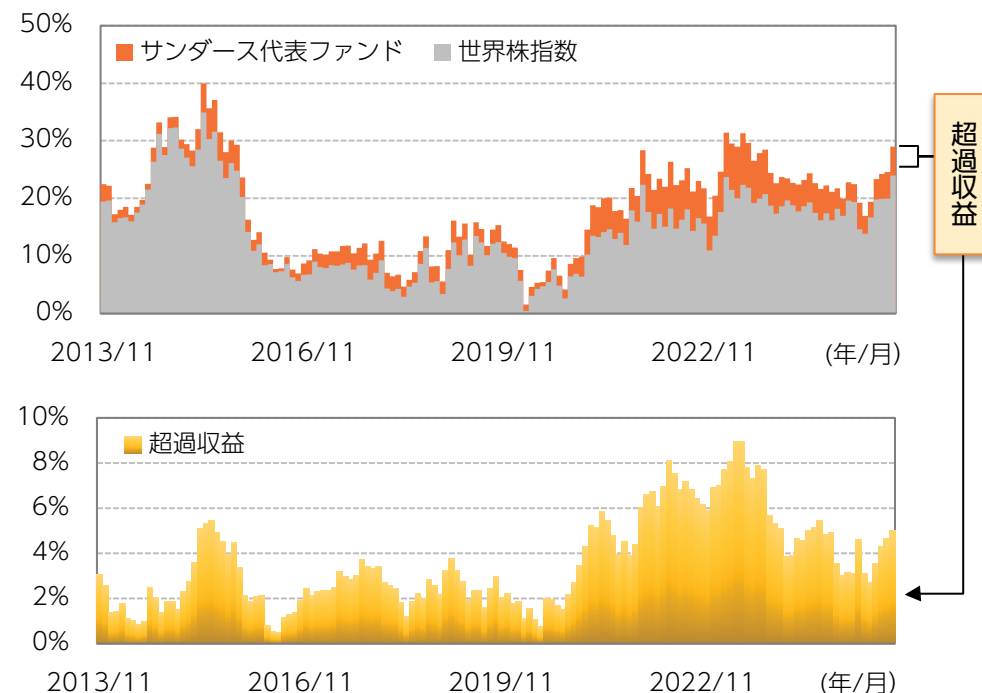
# 1 バリュースタイルに強く、グロース相場でも市場に追随 市場平均を上回るパフォーマンス

- 局面別で見ると、バリュースタイルで市場平均を大きく上回る一方、グロース相場でも市場平均とほぼ同程度のパフォーマンスを実現しています。
- その結果、投資期間3年間でみると、設定以降すべての期間で市場平均を上回っています。

## 局面別リターン(円ベース、年率)



## 3年リターンの推移(円ベース、年率)



出所) FactSetのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
データ期間：2010年11月末～2025年9月末(月次)

世界株指数：MSCIオールカントリー指数 局面別年率リターンはバリュースタイル株指数の騰落率がグロース株指数を上回っている月をバリュースタイル相場、下回っている月をグロース相場として、各局面の月次騰落率を累積して年率換算。3年リターンの推移は、各月末時点における3年前の月末から当該月末までのリターンの推移。

上記の運用実績は、サンダース・キャピタル・エルエルシーが当ファンドと同様の運用プロセスで運用を行う代表ファンドのパフォーマンス(報酬等コスト控除前)を示したものです。代表ファンドのベンチマークはMSCIオールカントリー指数であり、MSCIコクサイ指数をベンチマークとする当ファンドとはベンチマークが異なります。上記は当ファンドや当ファンドのマザーファンドの運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。

# サンダース社ならではの運用の特徴

- サンダース社のバリュー株運用の良好なパフォーマンスの背景には、百戦錬磨のサンダース氏・マヘディ氏の深い知見に基づく、同社ならではの“目利きのチカラ”があるとみられます。
- 株価が割安な銘柄を幅広く追求するなどの独自の運用が、グロース相場においても市場平均に大きく劣後しない結果につながっていると考えられます。

## ① 株価が割安な銘柄を幅広く追求

- 一般的には**グロース株とみなされることが多い銘柄**のなかからも株価が割安な銘柄を発掘
- 大型株は大勢が調査・分析しており超過収益を獲得しづらいとみなされがちだが、**大型株に幅広く投資機会**を見出している

## ② 株価に影響を与える要因を業種横断的に深掘り

- **株価を割安にしている不安要因**について、重要と判断する要因をリサーチテーマに設定して徹底的に調査・分析
- <リサーチテーマの例> 出生率低下の影響、電気自動車に関する技術革新、生成AIの商業的価値

## ③ バリュートラップ※を回避する工夫

- **「破壊的な変化」**が起こるとバリュートラップに陥りやすいため、中長期的なトレンドを調査・分析（例：AI、自動運転）
- 人は当初の見解に固執して変化に気づくのが遅れがちなので、**計量分析**を有効に活用

※「割安のわな」。割安な銘柄がいつまでも割安なまま放置されること。

## 独特な運用体制



### 【共同CIO（サンダース氏・マヘディ氏）】

- **アナリストを指揮**し、アナリストと共同で調査・分析を遂行
- 株価を割安にしている**不安要因について考察**し、リサーチテーマを設定
- **共同CIO2名のコンセンサス**によりポートフォリオを構築



### 【アナリスト】

- 特定のセクターを担当するスペシャリスト・アプローチではなく、テーマに応じて様々なセクターや企業を調査・分析する**ジェネラリスト・アプローチ**を採用
- 百戦錬磨のサンダース氏・マヘディ氏のもとで経験を積むことで、両氏の**深い知見とスキルをチームのものとして定着**させている

# サンダース社が着目するバリュー株の2つの概念



- サンダース社ならではの銘柄選択のアプローチで特に特徴的なのは、バリュー株を『平均回帰』と『<sup>しょうちゅう</sup>掌中の鳥※』という2つの概念からとらえていることです。 ※「掌(手の中)の1羽は草むらの2羽に値する (A bird in the hand is worth two in the bush.)」という米国のことわざからの引用。サンダース社では、投資家が悪材料に過剰反応し、手元の利益を優先して保有株式を売却することで株価が企業の本質的価値を下回ったときに投資機会が生じると考えています。
- 2つの概念に着目することによって、株価が割安な銘柄を幅広く追求します。

	“平均回帰” mean reversion	“ <sup>しょうちゅう</sup> 掌中の鳥” bird-in-the-hand
投資対象例	景気と業績の連動性が高い景気循環銘柄	一時的な悪材料等により市場参加者が業績悪化を懸念し、株価が売り込まれた銘柄
イメージ	<p>[景気サイクル/業績]</p> <p>良い</p> <p>悪い</p> <p>買</p> <p>売</p> <p>後退</p> <p>回復</p> <p>[時間]</p>	<p>[業績]</p> <p>良い</p> <p>悪い</p> <p>現在</p> <p>サンダース社の見方 (好調な業績の持続)</p> <p>一時的な業績悪化、市場環境変化等</p> <p>市場の見方 (業績の持続性に懐疑的、または業績悪化を予想)</p> <p>市場の見方とのかい離 (超過収益の源泉)</p> <p>?</p> <p>[時間]</p>
投資行動	景気後退局面で購入、回復局面で売却	好業績が持続することを調査・確認後に投資

# 代表ファンドの投資事例① “平均回帰”

## J P モルガン・チェース・アンド・カンパニー(米国、金融)

グローバルに展開する米国最大手の総合金融会社。国際的金融サービスおよびリテール銀行業務に従事。サービスには、投資銀行業務、証券サービス、資産管理、プライベートバンキング、商業銀行業務、住宅金融などがある。



### 市場の見方(購入時)

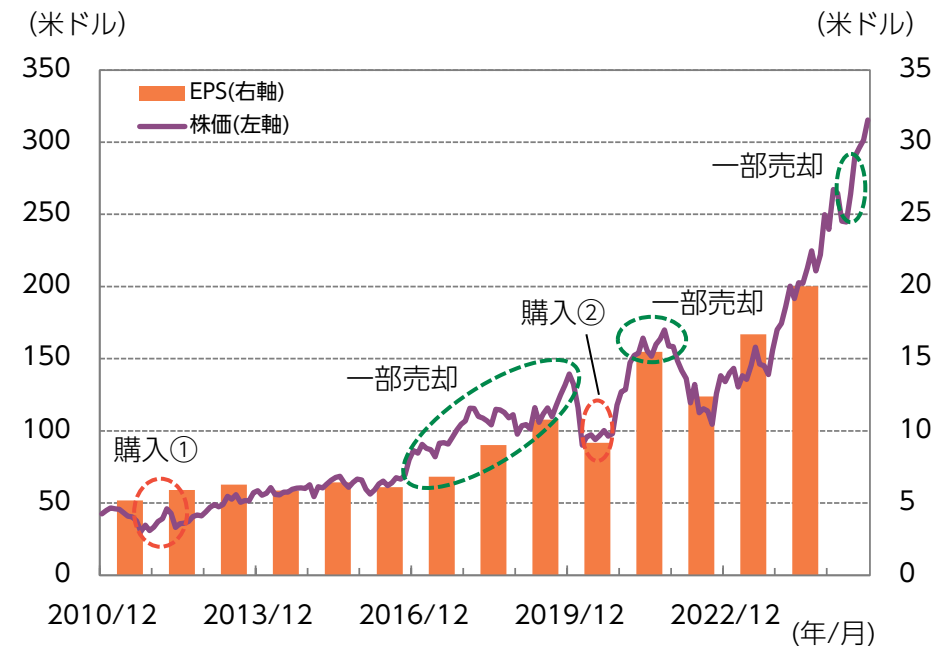
- ① 銀行規制強化、金融緩和、欧州金融危機等の金融業界に逆境となる状況が続き**業績低迷**
- ② 新型コロナウイルス感染拡大による景気悪化にともなう**不良債権の増加懸念**



### サンダース社の見方(購入時)

- ① 市場の懸念は過度に悲観的で**株価は割安**
- ② 強力な政府支援、ワクチンと治療薬の開発により、新型コロナウイルスによる**景気悪化は一時的**

### 株価とEPS(1株当たり純利益)の推移



出所) ブルームバークのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成

データ期間: 株価は2010年12月末~2025年9月末(月次)、EPSは2011年12月期~2024年12月期(年次)

上記はサンダース社の代表ファンドにおける過去の投資事例を紹介したものです。当ファンドの投資事例ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。代表ファンドについてはP3をご参照ください。

# 代表ファンドの投資事例② “掌中の鳥”



## メタ・プラットフォームズ(米国、コミュニケーション・サービス)

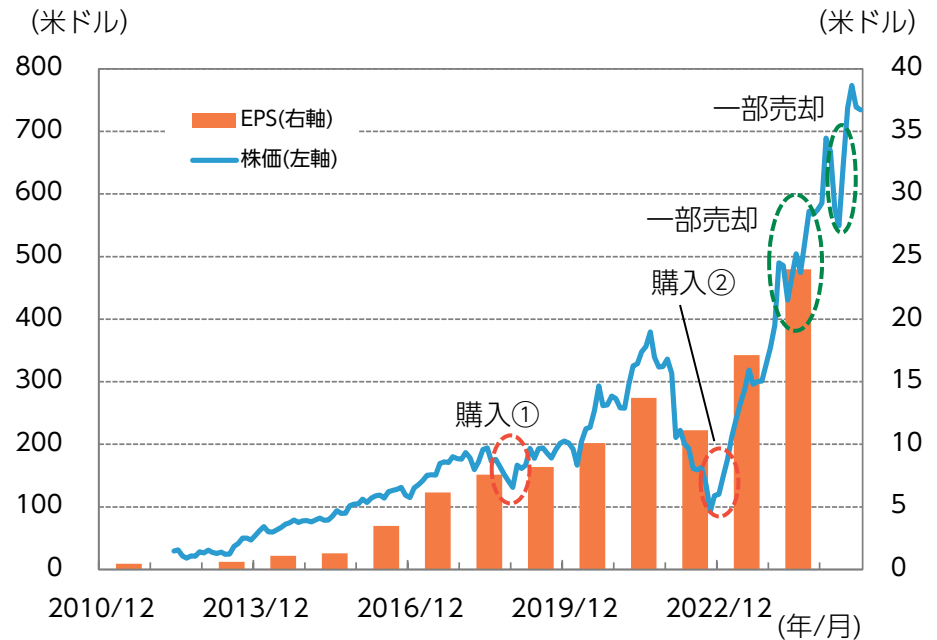
SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)「フェイスブック」などを展開。メタバースに関する技術やサービスへの貢献をビジョンとして掲げ、2021年10月に社名を「メタ・プラットフォームズ」へ変更。



### 市場の見方(購入時)

- ① ずさんな個人情報管理が指摘され、**株価は大きく下落**(2018年の投資開始時)
- ② メタバース事業部門で多額の営業損失を計上したことで、**株価が急落**

### 株価とEPS(1株当たり純利益)の推移



### サンダース社の見方(購入時)

- ① フェイスブック等のサービスの浸透によって**業績拡大が見込める**
- ② AIによるアルゴリズム改良により、**ターゲティング広告は競争力を回復**

出所) ブルームバークのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成

データ期間：株価は2012年5月末～2025年9月末(月次)、EPSは2011年12月期～2024年12月期(年次)

上記はサンダース社の代表ファンドにおける過去の投資事例を紹介したものです。当ファンドの投資事例ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。代表ファンドについてはP3をご参照ください。

# サンダース・キャピタル・エルエルシーについて



## サンダース・キャピタル・エルエルシー 会社紹介

- バリュース運用に特化した独立系運用会社
- 大手資産運用会社にてCIOを務めた2名が中心となり、2009年に設立
- 米国のフロリダに本社をおく
- 運用資産残高 約1,154億米ドル(約17.0兆円)\*  
うちグローバル・バリュース運用 約953億米ドル(約14.1兆円)\*
- 平均経験年数 共同CIO 50年 アナリスト 18年

\*2025年9月末時点、1米ドル=147.685円で円換算

### 【運用会社としての優位性】

#### 優れた人材

- 共同CIOの名声から、2人のもとの働きたいという希望者が多く、運用チームに優れた人材を採用しやすい。

#### 恵まれた顧客基盤

- 同社の運用手法を理解し、短期的な実績に動揺しない長期投資家を選別。直接の顧客数を50程度に制限している。

#### 投資家利益との合致

- サンダース氏をはじめ社員が多額の自己資金を投じており、投資者と運用者の利益が合致している。

#### 確固たる経済基盤

- 株主はサンダース氏を中心に社員100%。すでに経済的に成功したメンバーが創業しており、金銭的プレッシャーが低い。

## 共同CIO 略歴



ルイス・A・サンダース

- サンダース設立 ('09)
- アライアンス・バーンスタイン
  - 会長 ('05 - '08)
  - CEO ('03 - '08)
  - 副会長& CIO ('00 - '03)
- サンフォード C. バーンスタイン & Co.
  - 会長& CEO ('93 - '00)
  - 社長& COO ('81 - '92)
  - EVP リサーチ& 運用 ('79 - '81)
  - リサーチ・ディレクター ('72 - '81)
  - リサーチアナリスト ('68 - '72)
- Institutional Investor All-America Research 選出4回



ジョン・P・マヘディ

- サンダース入社 ('09.10)
- アライアンス・バーンスタイン
  - CIO, 米国バリュース株 ('09)&共同CIO ('03 - '09)
  - リサーチ・ディレクター, 米国バリュース株 ('01 - '08)
- サンフォード C. バーンスタイン & Co.
  - シニア・リサーチアナリスト, エネルギー ('95 - '01) / 石油関連 ('88 - '91)
- モルガン・スタンレー & Co.
  - シニア・リサーチアナリスト, 石油関連 ('91 - '95)
- トップ5石油アナリスト, ロイター&グリーンウィッチ ('99 - '00)
- Institutional Investor All-America Research 選出3回

# 銘柄選定プロセス

## スクリーニング

グローバル株式  
ユニバース

計量  
スクリーニング



- 流動性の高いグローバル株式を抽出
- 各指標をもとに割安銘柄をスクリーニング
  - PCFR(株価キャッシュフロー倍率、実績)
  - PER(株価収益率、正常時および12ヵ月後予想)

## ファンダメンタル・リサーチ

有望株リスト

リサーチテーマの  
設定

分析



- 期待超過収益率が高い銘柄群にフォーカスし、アナリストによるファンダメンタル・リサーチを実施
- 共同CIOはアナリストと協働でリサーチ・プロセスを実行

## ポートフォリオ構築

テーマ

ポートフォリオ



- 共同CIOとアナリストがリサーチ結果について合意を形成
  - リサーチ結果を類似企業に横展開して新規投資銘柄を発掘するのが銘柄選定の特徴
- リスク分析をふまえ期待リターンの高いポートフォリオを構築

1. 日本を除く世界各国の株式に投資します。中長期的な観点から「MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)」を上回る投資成果の獲得をめざし運用を行います。

- 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジ※を行いません。

※為替ヘッジとは、為替変動による資産価値の変動を回避する取引のことをいいます。

2. 企業の本質的価値と比較して株価が割安であると判断される銘柄(バリュー株)に投資します。株式の運用を行うサンダース・キャピタル・エルエルシーが、独自の視点で投資銘柄を厳選します。

- ファンドは、ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式マザーファンドの運用指図に関する権限をサンダース・キャピタル・エルエルシーに委託します。

## サンダース・キャピタル・エルエルシーについて

サンダース・キャピタル・エルエルシーは、米国・フロリダを拠点とする独立系のバリュー株の運用に特化した資産運用会社です。大手資産運用会社で運用責任者や経営責任者を務めたルイス・A・サンダース氏が中心となり、2009年に設立されました。

## 3. 決算頻度および分配方針の異なる2つのファンドから選択いただけます。

### <資産成長型>

年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。

- 毎年3月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

### <隔月予想分配金提示型>

年6回決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。

- 1・3・5・7・9・11月の各5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
- 収益分配方針に基づき、決算日の前営業日の基準価額(1万口当り。支払い済みの分配金累計額は加算しません)に応じて、以下の金額の分配を行うことをめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当り、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ・ 決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、左記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ・ 基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。
- ・ 基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- ・ 分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

- ・ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。

- ❗ 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。
- ・ 販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

# 運用実績(2025年9月末現在)

## 資産成長型

<基準価額・純資産等の推移>



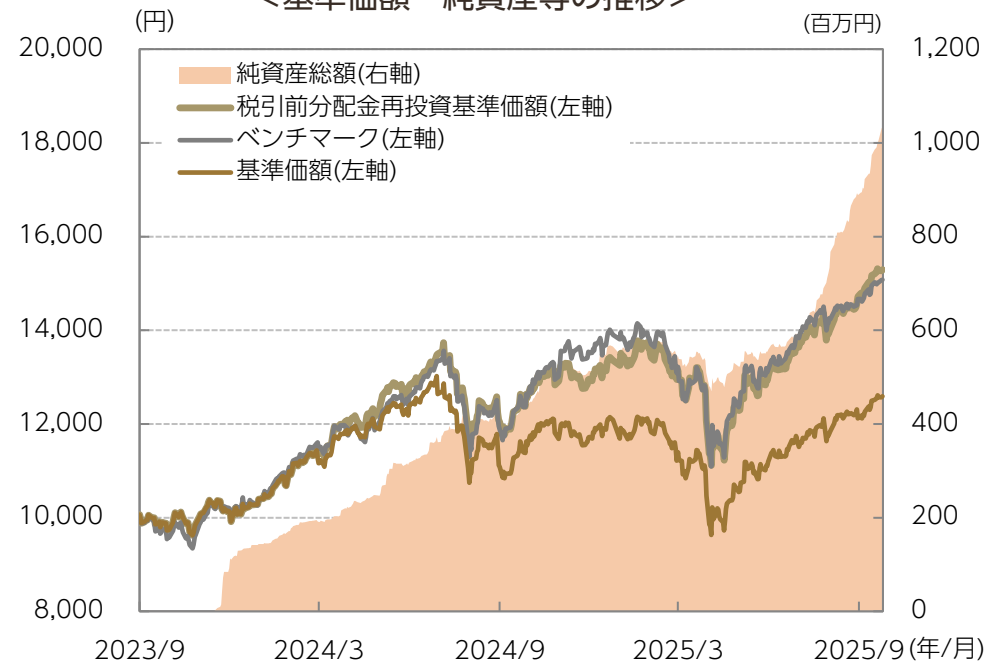
<分配の推移(1万口当り、税引前)>

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	設定来
2024年3月	2025年3月	2026年3月	2027年3月	2028年3月	累計額
0円	0円	-1円	-1円	-1円	0円

データ期間：2023年9月6日<設定日>～2025年9月30日(日次)

## 隔月予想分配金提示型

<基準価額・純資産等の推移>



<分配の推移(1万口当り、税引前)>

第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	設定来
2025年1月	2025年3月	2025年5月	2025年7月	2025年9月	累計額
300円	200円	100円	200円	300円	2,300円

データ期間：2023年9月6日<設定日>～2025年9月30日(日次)

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。基準価額は信託報酬控除後、1万口当りの値です。税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。ベンチマークはMSCIコクサイ指数(配当込み、円換算ベース)としております。MSCIコクサイ指数(配当込み、円換算ベース)は設定日前日の終値を起点として指数化しております。同指数は、MSCI Inc.が公表している指数であり、日本を除く主要先進国の株式により構成されています。なお、「円換算ベース」とは同指数をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。以下同じです。

# マザーファンドの状況(2025年9月末現在)

## 組入上位10カ国・地域

	国・地域	ファンド	ベンチマーク
1	アメリカ	56.5%	76.6%
2	イギリス	7.9%	3.8%
3	台湾	7.5%	—
4	フランス	4.9%	2.8%
5	スイス	4.4%	2.4%
6	ドイツ	3.2%	2.5%
7	中国	3.1%	—
8	オランダ	2.7%	1.3%
9	韓国	2.1%	—
10	シンガポール	1.4%	0.5%

## 業種別組入比率

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	情報技術	24.3%	28.1%
2	金融	16.1%	16.9%
3	ヘルスケア	14.9%	9.1%
4	コミュニケーション・サービス	13.8%	8.7%
5	資本財・サービス	11.2%	10.4%
6	一般消費財・サービス	9.2%	10.0%
7	生活必需品	4.5%	5.4%
8	エネルギー	0.8%	3.6%
9	素材	—	3.2%
10	公益事業	—	2.7%
11	不動産	—	1.9%
12	その他	5.1%	—

## 組入上位5銘柄(組入銘柄：68)

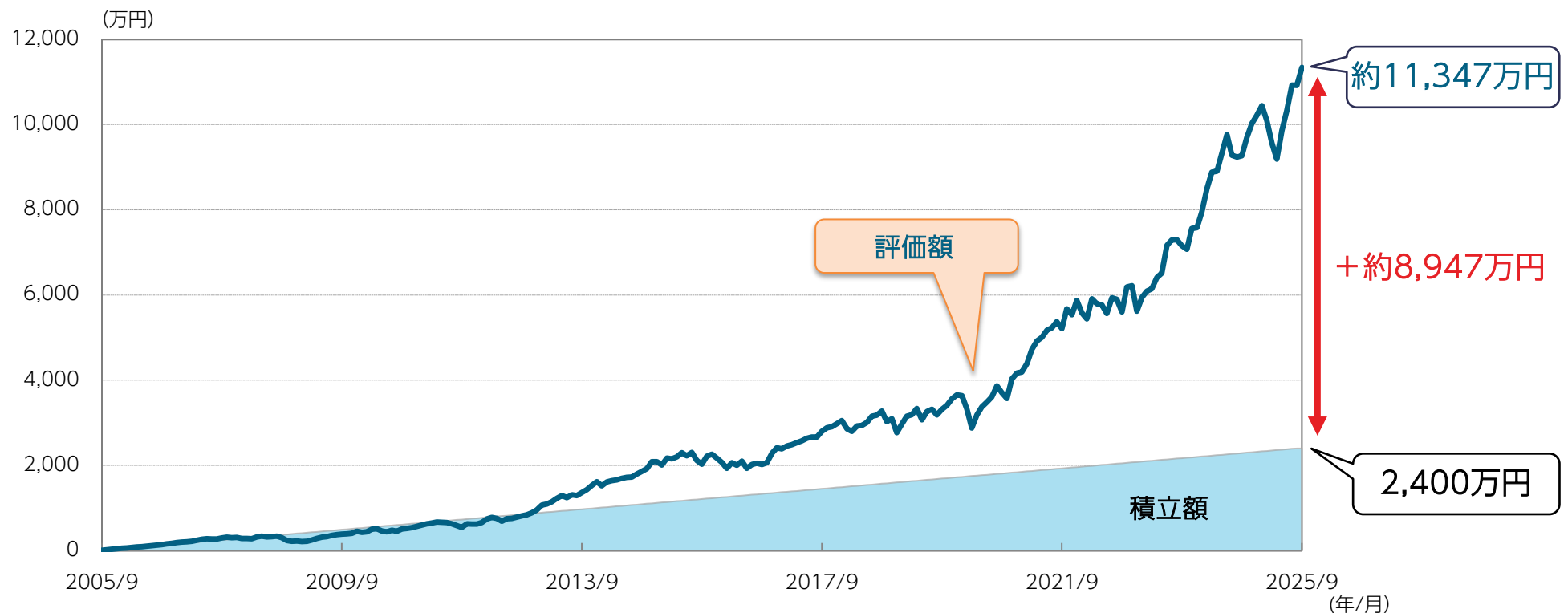
	銘柄	国・地域	業種	ファンド	ベンチ マーク	銘柄解説
1	台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	7.5%	—	半導体メーカー。ウエハー製造、プロービング、組み立て、検査のほか、設計サービス等を提供する。
2	アルファベット(C)	アメリカ	コミュニケーション・サービス	7.2%	1.6%	ウェブベースの検索、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、ハードウェア製品などを提供する。
3	メタ・プラットフォームズ	アメリカ	コミュニケーション・サービス	5.8%	2.1%	ソーシャルネットワーク・ウェブサイト運営会社。
4	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	5.4%	4.8%	ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売およびサポートを手がける。
5	HCAヘルスケア	アメリカ	ヘルスケア	3.8%	0.1%	医療サービス会社。主なサービスは、診断、治療、コンサルティング、介護、手術、その他サービス。

比率はすべて対純資産総額比です。国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。業種はGICS分類(セクター)によるものです。組入上位10カ国・地域にETFは含んでおりません。業種別組入比率の「その他」にはETFを含みます。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

# (ご参考) 資産形成に活用したい積立投資

- 定期的に同金額の買い付けを行う積立投資を活用することで、高値掴みや安いときの買い損ねを避けることが期待できます。また、下落局面ではより多くの口数を買付けができるため平均購入単価を下げる効果が期待できます。
- 日本を除く先進国株に積立投資した仮想例では、評価額は積立額を大きく上回る結果となっています。

## 日本を除く先進国株に月10万円を20年間積立投資した仮想例



出所) FactSetのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 データ期間：2005年9月末～2025年9月末(月次) 上記はMSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)通りに運用できたと仮定した場合の試算結果です。費用・税金等は一切考慮していません。

## 基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

### 主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

・基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短期間で手当てする必要がある場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができないリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受け付けを中止する、また既に受け付けた換金の申込みの受け付けを取消する可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性などがあります。
- ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

# 分配金に関する留意事項

● 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

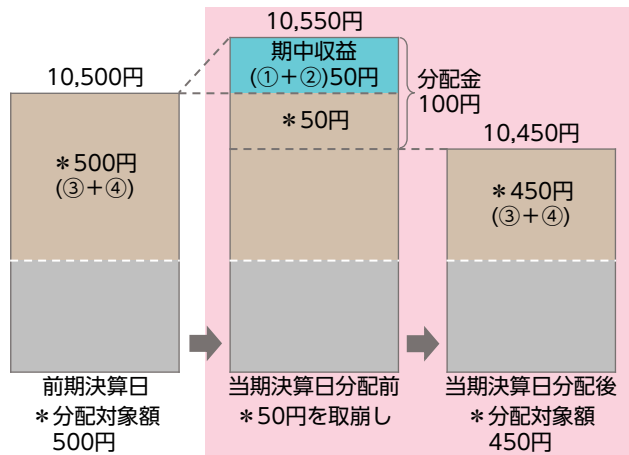
ファンドで分配金が支払われるイメージ



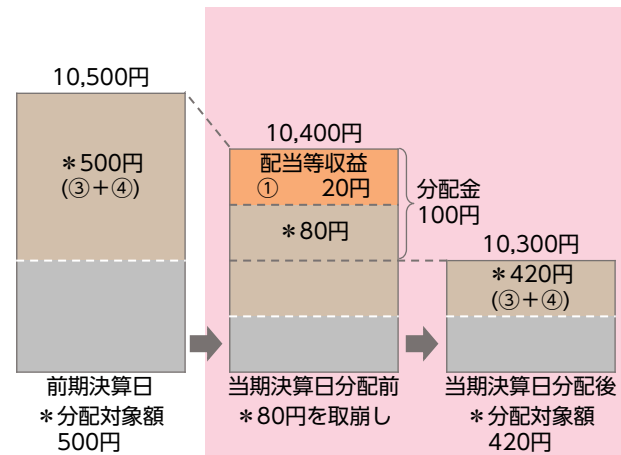
● 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配準備積立金: 期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができません。

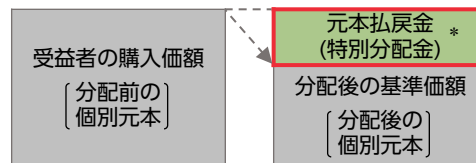
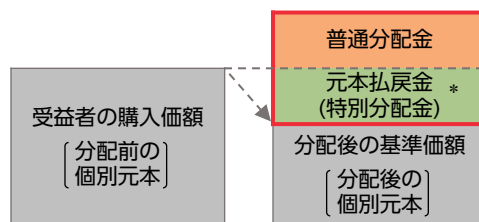
収益調整金: 追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

※左記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

● 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



\*実質的に元本の一部払戻しに相当する元本払戻金(特別分配金)が支払われると、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# お申込みメモ／ファンドの費用

## お申込みメモ

購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時30分までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。ただし、申込締切時間は販売会社によって異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にご確認ください。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金の申込みの受け付けを行いません。
信託期間	2044年3月7日まで(設定日：2023年9月6日)
繰上償還	委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。
決算日	資産成長型：3月5日 隔月予想分配金提示型：1・3・5・7・9・11月の各5日 ● 該当日が休業日の場合は翌営業日となります。 ● 販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の対象となり、いずれのファンドもNISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象となります。ただし、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問合せください。

■ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

- 委託会社(ファンドの運用の指図を行います)  
ニッセイアセットマネジメント株式会社  
コールセンター：0120-762-506(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)  
ホームページ：https://www.nam.co.jp/

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ●料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に <b>年率1.496%(税抜1.36%)</b> をかけた額とし、ファンドからご負担いただけます。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただけます。
随時	その他の費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただけます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

- 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
- 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 受託会社(ファンドの財産の保管および管理を行います)  
三井住友信託銀行株式会社

<ご留意いただきたい事項>

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なしに変更されることがあります。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- MSCI各種指数は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



商号等：PWM日本証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



ニッセイアセットマネジメント



商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会、  
一般社団法人日本投資顧問業協会